

平成31年度(2019年度)
文化振興課所管事業

背景・事業概要

- 群馬交響楽団は、1945(昭和20)年に「高崎市民オーケストラ」として設立された地方オーケストラの草分けであり、定期演奏会や移動音楽教室などの公演を通じ、県民にオーケストラ鑑賞の機会を提供し、子どもたちの心の豊かさを育み、県民のオーケストラとして地域に根付いた活動を継続しています。
- また、東京公演や県外公演を通じて、本県のイメージアップも担ってきました。
- 平成30年度も定期演奏会の入場者数が14,000人を超える見込で、29年度に引き続き高水準を維持するなど、県民の注目を集めています。
一方で、公益財団法人として一層の経営安定化が求められていることから、運営費及び各種事業に対する補助を行い、「県民のオーケストラ」である群響の活動を支援します。

具体的な取り組み

【予算額286,028千円】

1 運営費等に対する支援

運営及び経営安定化のための補助金

- ①運営費補助 (171,795千円)
- ②財務基盤強化 (10,000千円)
- ③退職金積立 (17,300千円) 等

3 各種演奏会への補助

県民への鑑賞機会の提供と、県外公演による県のイメージアップを支援

- ①東京定期演奏会 (3,500千円)
- ②県外公演(1,000千円) 等

2 移動音楽教室等に対する支援

幼児から高校生までを対象に、本物の音楽に触れる演奏会等を実施

- ①幼児移動音楽教室 (4,250千円)
- ②移動音楽教室 (39,245千円)
- ③高校音楽教室 (24,482千円)
- ④楽器セミナー (3,888千円)



群響・定期演奏会



幼児移動音楽教室

背景・事業概要

- 平成31年度の高崎芸術劇場、32年度のGメッセ群馬（群馬コンベンションセンター）のオープンに向けて、これらの文化施設はもとより、富岡製糸場、群馬交響楽団等、群馬県ならではの有形無形の文化資源を活用したコンテンツの創造と充実を図る取組を実施します。
- 文化資源のこれまでにない組み合わせによる活用を通じて、文化による県の魅力発信と新施設のアピールにつなげていきます。

具体的な取り組み

【予算額60,000千円】

1 世界遺産劇場(世界遺産登録5周年)

世界遺産の構成資産である富岡製糸場(東繭倉庫)において、一流の音楽アーティストによるスペシャルライブと群響アンサンブルの共演を行い、本県が誇る世界遺産の魅力発信及び交流人口の増加につなげていきます。

2 伝統芸能×オーケストラ×SENJU LAB(高崎芸術劇場オープン)

群馬の獅子舞・人形芝居、群響、SENJU LABのコラボによる、伝統と革新の舞台芸術を創造します。

※SENJU LAB: 千住明氏が東京藝術大学で主宰する、音楽・絵画など多分野にわたる芸術を総合して新たな創造を目指すプロジェクト

3 群響スペシャルコンサート(能とオペラの共演)

高崎市出身の能楽師・下平克宏氏と群響が共演し、日本文化を代表する能と、西洋文化を代表するオペラを、「愛」をテーマとした演目により上演します。

4 群馬のものがたり

県内文化施設あるいは歴史的建造物を会場に、ゆかりのある文学者とその作品をテーマとした朗読やトークを行うとともに、群響アンサンブルによる演奏を通じて、その地域が紡いできた歴史や文化をひもときます。



群馬交響楽団

×



歴史的建造物



新たな文化発信拠点



伝統芸能・文化

=

新たな魅力の発信
賑わいの創出

背景・事業概要

○群馬県民の記憶に深く刻まれた「上毛かるた」を活用し、郷土の素晴らしさを見つめ直し、郷土ぐんまへの誇りと愛着を醸成するとともに、県外へも本県の文化的魅力を紹介します。

○具体的には、上毛かるたを活用しながら本県の魅力を県内外へ発信するために、上毛かるたの発行及び関連書籍（副読本・ガイドマップ）の有償頒布や、歴史ある「上毛かるた」競技県大会の継続などを行います。

具体的な取り組み

【予算額23,698千円】

1 上毛かるたの発行・頒布(予算額10,258千円)

平成25年10月28日〔群馬県民の日〕に権利譲渡を受けた上毛かるたに込められた思いを引き継ぎ、上毛かるたを通じて歴史と先人たちの思いを子どもたちをはじめ広く県民に知ってもらえるよう努めます。

平成30年度は、上毛かるた18,000部を発行し、県内外の書店等に配本します。

2 副読本『「上毛かるた」で見つける群馬のすがた』の頒布(予算額240千円)

上毛かるた44枚の絵札で取り上げられた事象を分かりやすく解説するとともに、制作された当時の状況やその事象にまつわる現在の姿等を紹介する副読本（改訂版）を、頒布します。（県内外の書店に配本）

3 ガイドマップ『「上毛かるた」ゆかりの地 文化めぐり』の頒布(予算額264千円)

上毛かるた44枚の各絵札で取り上げられている地域へのアクセス方法を紹介し、ぐんまの文化紹介とあわせて観光PRに活用するガイドマップの改訂版を発行します。（県内外の書店に配本）

4 「上毛かるた」競技県大会の開催(予算額500千円)

県・県教育委員会・子ども会育成連合会の三者が主催する「上毛かるた」競技県大会を継続して開催します。

5 英語版上毛かるた作成・頒布(予算額12,436千円)

制作編集委員会で決定した英訳等をもとに、小中学校での英語教育での活用や外国人観光客へのPRを目的に、英語版上毛かるたを作成・頒布します。

小学校5・6年生と中学校1年生に無償頒布分として2,000部、書店等での有償頒布分として8,000部の合計10,000部を発行します。



上毛かるた



ガイドマップ



副読本

背景・事業概要

○東国文化の「すごさ」や「ストーリー」をわかりやすく発信

次代を担う子供たちをはじめ、県民に本県の貴重な歴史文化遺産の価値を再認識してもらうことで、郷土への誇りと愛着を育むとともに、東国文化の認知度の向上を図ります。

○観光部局等との連携強化によるイメージアップと観光誘客の促進

本県の歴史文化遺産を観光資源として磨き上げ、価値や魅力を発信し「東国文化＝群馬」のイメージを全国に定着させるとともに、2020年の群馬DCを視野に、観光部局と連携して誘客促進を図ります。

具体的な取り組み

【予算額 19,633千円】

● 東国文化周知

【予算額 16,633千円】

【新規】◆「黒井峯遺跡VRアプリ」体験イベント (1,725千円)

プレDC関連イベントとして、「黒井峯遺跡VRアプリ」を活用した現地学習会や、古代馬乗馬等の古代体験ができるイベントを開催する。(4月27日)



【新規】◆群馬の埴輪ガイドブック「HANI-本」作成・販売 (3,415千円)

県内出土埴輪をわかりやすく解説したガイドブックを作成・販売する。

◆群馬古墳フェスタ2019 (4,000千円)

プレDC関連イベントとして、大室古墳群(前橋市)を会場にイベントを開催し、「古墳王国群馬」を全国に発信する。(6月3日)

◆東国文化体験キャンプ (1,750千円)

県内の遺跡を会場に、家族で東国文化を体験できるキャンプを実施する。



◆東国文化ゆかりの地巡り(スタンプラリー) (2,122千円)

東国文化にゆかりのある県内の遺跡を巡るスタンプラリーを実施する。

◆東国文化副読本の活用推進 (3,621千円)

- ・中学1年生全員への配布及び一般販売
- ・東国文化自由研究の募集
- ・東国文化ハカセの派遣(ほか)



● 「世界の記憶」上野三碑周知

【予算額 3,000千円】

◆上野三碑発信事業

高崎市が事務局となる「上野三碑普及推進会議(仮称)」とも連携し、引き続き、上野三碑の価値や魅力を発信する。
(上野三碑講演会の開催、ラッピング電車の運行、のぼり旗の掲示等)



● 歴史文化遺産ツアー造成支援

観光部局やぐんまちゃん家と連携して首都圏等の旅行エージェントを訪問し、県内の歴史文化遺産を周遊する旅行商品の造成を働きかける。



H30 はとバスツアーパンフレット

5 県民芸術祭委託

背景・事業概要

- 県民芸術祭は、昭和56年に決議された「文化県群馬」宣言及び平成24年に制定した「群馬県文化基本条例」の理念に則り、多くの県民が芸術文化活動に積極的に参加できるよう支援するとともに、優れた芸術鑑賞の機会を提供することにより、個性豊かな県民文化の育成・創造を目指す文化芸術の祭典です。
- 本県の文化を支える担い手を育成するため、県文学賞選奨や県展（美術、書道、写真、華道、茶道の5部門）、ぐんま新人演奏会などを開催し、県民参加の芸術文化創作活動の場を提供します。
- 伝統文化の保存・継承・発展、後継者育成と普及を図るため、ぐんま子ども歌舞伎公演や小中学校伝統芸能教室等の事業を実施します。
- 漫画、アニメーションなどのメディア芸術の振興を図るGUNMAマンガ・アニメフェスタを県生涯学習センターで開催します。

具体的な取り組み

【予算額45,008千円】

- 群馬県文学賞、県展、山崎種二特別賞など、県民芸術祭事業を（公財）群馬県教育文化事業団に委託して実施します。
- GUNMAマンガ・アニメフェスタを開催し、メディア芸術の振興を図ります。

（内訳）

- ・群馬県文学賞選奨
- ・群馬県展（5部門）
- ・県民音楽のひろば
- ・小中学校伝統芸能教室
- ・公開放送番組招聘
- ・山崎種二記念特別賞
- ・GUNMAマンガ・アニメフェスタ
- ・地域文化フェスティバル
- ・子どもワークショップ「はじめての文化・芸術ふれあい教室」
- ・参加団体会場費補助
- ・県民芸術祭企画運営
- ・群響企画コンサート
- ・グリーンコンサート
- ・ぐんま新人演奏会
- ・伝統歌舞伎の祭典



小中学校伝統芸能教室



GUNMA マンガ・アニメフェスタ



6 県立文化施設の計画的整備

現状・課題

県立文化施設〔美術館（2館）・博物館（3館）・文化ホール（2館）〕は経年劣化が進行しており、施設の長寿命化を視野に、安全性の確保を優先しながら計画的な改修が必要となっています。

- 〔群馬県民会館〕○築後47年の経過により、建物・設備の老朽化が著しく進行し設備・機器の故障や雨漏り・漏水等が発生しています。
- 震度6以上の地震があった場合、「館内の一部で倒壊・崩壊する危険性がある」という耐震診断で、一部天井も現行建築基準法の基準を満たしていません。
- 駐車場の改善について継続して根強い要望があります。
- 〔近代美術館、自然史博物館〕
- 一部天井が現行建築基準法の基準を満たしていません。
- 〔館林美術館〕○開館から17年が経過し、空調設備等について老朽化が進行しています。

施設名	開館	経過 年数	耐震補強	特定天井	これまでの大規模な改修等	
					年次	内容
近代美術館	S49.10.17	44	-	該当	H18~19	建物・設備改修
館林美術館	H13.10.26	17	-	-	H31	設備改修（ESCO）（予定）
歴史博物館	S54.10.21	39	-	-	H26~28	建物・設備改修
自然史博物館	H8.10.22	22	-	該当	H25	設備改修（ESCO）
かぶら文化ホール					-	-
土屋文明記念文学館	H8.7.11	22	-	-	-	-
群馬県民会館 （ベシア文化ホール）	S46.10.29	47	要	該当	H11~12	機械・電気設備更新、増築等
					H18	アスベスト除去
					H32	建物・設備改修（予定）

具体的な取り組み

博物館・美術館

- 〔館林美術館〕
- ESCO事業の導入
空調設備、照明設備の一部について、経費の節減と省エネルギー効率を高めるため、ESCO（エスコ）事業を導入します。
- ※ESCO（Energy Service Company）
省エネルギー改修経費を、光熱水費の削減分で賄うもので、改修設計、工事管理、改修後の維持管理をESCO事業者が実施
- 導入スケジュール 平成30年 9月 契約締結
12月～ 改修工事
2020（H32）年 4月～ ESCOサービス開始
- 展示室の結露対策（予算額3,350千円）
- 〔自然史博物館〕
- 事務室の床修繕（予算額5,049千円）
- 〔土屋文明記念文学館〕
- 収蔵庫の耐震対策（予算額3,465千円）

群馬県民会館

県域的な文化事業や担い手育成、文化交流の中核的施設としての役割を、引き続き担っていくため、大規模な改修を実施し、施設の耐震補強、長寿命化を図ります。

改修スケジュール 平成30年度 実施設計
2020（H32）年度～ 改修工事
2021（H33）年度 リニューアル



※このほか、施設の長寿命化、設備・機器の緊急修繕等については、管財課、県民生活課所管予算でも対応します。

7 文化施設の運営(1)

背景・事業概要

県では、県民の皆様に優れた本県の芸術や文化の鑑賞の機会を提供するため、7つの文化施設を運営しています。

平成30年度の美術館・博物館の入館者数 490,405人(1月末現在)

具体的な取り組み

美術館・博物館では、引き続き効率的な管理・運営に努めるほか、魅力的な企画展示等の実施、教育普及事業の充実を図ります。

※近代美術館、館林美術館、歴史博物館、土屋文明記念文学館では電力入札を実施し経費削減しています。

近代美術館

(予算額223,275千円)

本県における中核の美術展示施設として、本県ゆかりの作品を含む日本と西洋の近現代美術、中国と日本の古美術からなる戸方庵井上コレクションの展示等を行います。

- (企画展示) 4/20～6/23 くまのパディントン™展
7/13～9/1 長島有里枝×竹村京「まえといま」
9/21～11/10 没後70年 森村西三とその時代
2/8～3/22 西洋近代美術にみる神話の世界

館林美術館

(予算額170,404千円)

「自然と人間」をテーマに、地域に根ざした美術館として、所蔵する国内外のコレクション等の展示を行うほか、地域と連携した様々な教育普及事業にも取り組みます。

- (企画展示) 4/20～6/23 熊谷守一 いのちを見つめて
7/13～9/16 みつめる ～見ることの不思議と向き合う作家たち～(仮称)
10/5～12/8 ピカソ《ゲルニカ》の世界展(仮称)

※改修工事(ESCO)のため12/9～4月中旬休館

歴史博物館

(予算額214,760千円)

東国文化や上野三碑をはじめ、原始より現在にいたる群馬の歴史・文化を、実物資料を中心にジオラマやレプリカなども多数展示し、子どもたちにも分かりやすく解説します。

- (企画展示等) 4/27～6/16 大新田氏展
7/13～9/1 生まれ! ぐんまのはにわたち ～日本一の埴輪県～
9/28～12/1 ハート形土偶大集合!! ～縄文のかたち・美、そして岡本太郎～
1/4～2/24 特別収藏品展 日本画の美

※水滴染み事故により、平成23年度、文化庁から公開承認施設を取り消されましたが、2022(H34)年度の再承認を目指し、施設の適切な管理運営に努めてまいります。



8 文化施設の運営(2)

具体的な取り組み

自然史博物館 (予算額321,980千円)

地球の生い立ちから生物の進化の歴史、本県の自然の現状と変遷などの展示を通し、大古のロマンを十分に伝え、自然と環境に対する理解を育みます。

- (企画展示) 3/23~5/19 谷川連峰 ~絶景といのちが織りなすエコパークの山々~
- 7/13~9/1 同居いきもの図鑑
- 10/5~12/1 海の森
- 3/21~6/7 空にいどんだ勇者たち

※平成25年度に空調設備等が更新され(ESCO事業)、平成26年度から施設の維持・管理の省エネを進めています。(平成29年度実績:省エネ率45.6%、CO2削減率49.9%)



土屋文明記念文学館 (予算額 68,923千円)

歌人土屋文明の業績を記念して、その生涯と作品を紹介するほか、短歌や本県ゆかりの文学資料等を収集・展示し、文学を感じ、親しむ機会を提供します。

- (企画展示) 4/13~6/9 ミステリー小説の夜明け ~江戸川乱歩、横溝正史、渡辺啓助、渡辺温一~
- 7/13~9/23 新美南吉「ごんぎつね」の世界 ~教科書で学んだ文学~(仮称)
- 10/5~12/15 萩原恭次郎生誕120年記念展「移りゆく時代と詩人たち」(仮称)
- 1/11~3/15 掛軸になった文学(仮称)



文化ホール(群馬県民会館、かぶら文化ホール) (予算額146,014千円)

優れた文化芸術の創造、交流、発信の本県及び地域の拠点として、引き続き指定管理者制度による施設・設備の管理・運営を行います。

群馬県民会館(ベイシア文化ホール) 指定管理者: 群馬県民会館管理共同事業体
 指定期間: 平成28~2020(H32)年度

かぶら文化ホール(自然史博物館附帯ホール) 指定管理者: 富岡市
 指定期間: 平成29~31年度

※かぶら文化ホールは、平成31年度に次期指定管理者を選定

	近代美術館	館林美術館	歴史博物館	自然史博物館	土屋文明記念文学館	5館計
	85,681	40,909	78,542	249,879	35,394	490,405
指針目標	100,000	55,000	100,000	250,000	35,000	540,000
達成度	85.7%	74.4%	78.5%	100.0%	101.1%	90.8%
5年平均	90,955	62,461	57,952	250,063	32,827	494,259
対平均	94.2%	65.5%	135.5%	99.9%	107.8%	99.2%

背景・事業概要

- 失われつつある地域の伝統や文化を継承（復活）している、意欲ある団体への支援を行います。
- 具体的には、県内各地に伝わる伝統芸能や祭りなどを継承するための取り組みを、補助事業や委託事業により支援します。

具体的な取り組み

【予算額9,124千円】

1 「群馬のふるさと伝統文化」支援事業（予算額8,104千円）※補助率2/3以内

補助メニュー	対象事業	上限額	件数(枠)
伝統文化映像記録	地域伝統文化を映像に記録	200千円	4件
伝承者養成	伝承者(後継者)の養成	200千円	30件
伝統文化継承活動	道具や衣装の整備等	200千円	
こども伝統文化継承	こども教室等での体験・習得	200千円	
伝統文化サポーター	継承を支えるサポート活動	200千円	4件



獅子舞用衣装の購入(伝統文化継承活動)



祇園囃子の練習会(こども伝統文化継承)

2 伝統文化継承事業委託（予算額1,020千円）

(公財)群馬県教育文化事業団に委託し、専門知識や人脈を活かした、伝統文化継承に関する具体的支援を実施します。

- ①ぐんまの地域文化マップ運営、②伝統文化継承委員会、③県内伝統文化の調査、④伝統文化継承モデル事業（伝統芸能字幕付公演等）の実施

10 文化づくり支援事業

背景・事業概要

- 「群馬の文化」形成に資する、地域での多様で創造性豊かな活動を支援します。
- NPO法人、民間団体（実行委員会形式等含む）が行う文化活動への補助を実施します。
- 第三者機関による補助事業の事前・事後評価を行います。

具体的な取り組み

【予算額 8,309千円】

1 「群馬の文化」支援事業(予算額 8,087千円)※補助率1/2以内

補助メニュー	内容	対象団体	上限額
文化力向上事業	群馬の文化を元気にする新たな取組等を支援	NPO法人 民間団体（実行委員会形式等含む）	50万円
次世代育成事業	次世代を担う子どもたちが文化芸術に触れる取組を支援	NPO法人 民間団体（実行委員会形式等含む）	20万円
文化資産発掘・活用事業	地域の文化資産を活かした地域振興につながる事業を支援	市町村が構成員となっている実行委員会等の団体	100万円



安中ジュニアオーケストラ創立20周年記念演奏会(文化力向上事業)



キッズミュージカル公演(次世代育成事業)

2 文化づくり支援事業・魅せる群馬の文化応援事業評価委員会(予算額 222千円)

第三者機関による補助事業に対する事前・事後の評価を実施します。

11 魅せる群馬の文化応援事業

文化振興課

背景・事業概要

- 地域の文化を磨き上げ、県内外に本県特有の文化の魅力を発信し、人を呼び込み、レガシーとなる継続性のある大規模な事業展開が見込める事業を2年間（H30～31年度）応援します。
- 書類審査を通過した申請者によるプレゼンテーションを実施し、第三者機関による評価で採択を決定します。

具体的な取り組み

【予算額10,000千円】

1 魅せる群馬の文化応援事業（予算額10,000千円）※補助率1/2以内

補助メニュー	内容	対象団体	上限額
東国文化枠	「東国文化＝群馬」のイメージを定着させる東国文化に特化した事業	市町村（市町村が構成員となっている団体を含む）・NPO法人・文化団体	2か年度500万円
地域文化資産枠	地域の文化資産を磨き上げ、県内外に魅力を発信することで交流人口の増加につながる事業	市町村（市町村が構成員となっている団体を含む）・NPO法人・文化団体	2か年度500万円



東国文化祭“上野国分寺まつり”
【東国文化枠】



世界にはばたけ伊勢崎銘仙
【地域文化資産枠】

- ### 2 文化づくり支援事業・魅せる群馬の文化応援事業評価委員会（※予算額は前頁参照）
- 書類審査を通過した申請者によるプレゼンテーションを実施し、第三者機関による評価を行い、採択を決定します。また、事後の評価も行います。